


ふりがな 氏名	いしかわ あやか 石川 郁香	都道府県	千葉県	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・(公社)日本ユネスコ協会連盟理事(柏ユネスコ協会青年理事) ・柏市立小学校 教諭 			
私のESD活動	民間ユネスコ運動における様々な取り組み。柏ユネスコ少年団の運営。小学校教育の授業内での取り組み			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

小学5年生から柏ユネスコ協会に所属し、19年間ユネスコの民間運動に参加してきました。高校生の時にインドの農村地帯へ行き、教育の重要性を感じました。平和の実現には、教育の機会の重要性だけでなく、先進国及び途上国の上層部の人々が社会をどのように学び、社会問題をどのように捉え、どのように向き合っていくかが大切だと考えるようになりました。大学1年生の時、ESDの理念を始めて学び、私がそれまで取り組んできたユネスコ活動そのものがESDであると学びました。その後、自主的な勉強会や小中学生への出前授業、募金活動、子どもたちとのキャンプ、スタディツアーなどを行う際は、常にESDの視点を念頭に置き、取り組んできました。

現在、主に取り組んでいるESD活動は、①8月8～11日に開催した「第48回ユネスコ子どもキャンプ」の運営と、②「柏ユネスコ少年団」の運営です。①のキャンプは、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が地域ユネスコ協会と共催で行っており、昨年度から「ESDの実践と青年育成」という目的が掲げられ、新たにスタートしました。昨年度から2年間が千葉での開催となり、運営・企画責任者を任されています。今年は、「描こう！ぼくらのカラフル世界(ワールド)」というテーマを設定し、他国・他地域の子どもたちとの関わりの中で、多様な考え方、文化を認め合い、主体的に社会作りに参画していける人を育てていきたいという思いを込めて企画・運営を進めています。②の柏ユネスコ少年団は、柏市在住・在学の小中学生を対象に月1回、国際理解学習やユネスコ活動を行っている社会活動です。持続可能な社会を創っていくために必要な学びと考え方を育てられるよう取り組んでいます。

○「公益社団法人日本ユネスコ協会連盟」 <https://unesco.jp/>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思いますか？

- ①民間ユネスコ運動として実施すべきESD活動を見出し、日本ユネスコ協会連盟に提案し、全国規模の活動として取り組んでいきたいです。日本ユネスコ協会連盟の最年少の理事として、ESDの風をユネスコ界に吹かせ、立派なESD活動の実施団体となれるよう展開していきたいです。
- ②小学校教員として学校現場で実施していきたいです。
- ③ユースカンファレンスで出会った仲間と、それぞれの経験や立場を生かせる活動を行い、それぞれが所属している団体の仲間にもさらにそのネットワークを広げ、大きな活動に広げていきたいです。
- ④民間ユネスコ運動をしている青年と、ESD活動とをしている他団体の青年を繋いでいきたいです。